



第 34 回 例会 報告 (3月14日)

【 出 席 報 告 】

・ 会員数	53名	・ 出席数	35名	・ 欠席数	18名
・ 当日出席率	70.83%	・ 前々回修正出席率	100%		

< 欠席会員 > 青野(淳)、原、檜垣(巧)、川上、桑森、松木、尾越、大澤、重松、島田、竹田、田中、矢野

[免除会員] 青野、飯、松本、白石、八木

<2/28 欠席補填>(3/1 西条)村上(裕) (3/3DTS)松木 (3/11 今治北)青野(淳)、青野(賢)、檜垣(巧)、加賀、桑森
尾越、大澤、竹田、田中、藤堂

元今治青少年ロータリー友の会 豊岡咲さん・現在大学4年生です。海を愛する人・海を生業にしている人達で、海によって被害を受けた場所・ひと・地域を守り、助けるボランティア団体のマリネイドでも活動しています。昨年の大会では、529名の参加があり160万円の募金が集まりました。地元ボランティア団体や日本赤十字社へ寄付致しました。ご協力ありがとうございました。今年の大会は4月13日に赤坂ブリッツで開催致します。

会長報告・国際ロータリー日本事務局より、菅主浩会員へポール・ハリス・フェロー認証状が届きました。
幹事報告・次週は地区協議会報告です。地区協議会へご出席の皆様宜しくお願いします。

職業奉仕委員会アワー

冠康秀委員長・近年、いじめ・体罰・自殺問題など青少年の健全育成のために考えなければならない問題が沢山あります。今日は、自殺問題を通して新世代の育成を考えていきたいと思えます。

平田勝豪会員「自殺を科学する」：日本の自殺の概要をみると、年間約3万人にのぼり、自殺者はロシアにつぎG8の中ではワースト2位です。自殺の可能性の一つである精神疾患の多くは、能の前頭葉の機能障害によるものです。モノアミンの分泌量が低くなることで引き起こされます。これはストレスが大きな要因です。配偶者の死・離婚などマイナスの要因もありますが、結婚・就職・妊娠などプラスの要因でもストレスが生まれるので気を付けなければなりません。自殺リスクの高いタイプは経済的に困窮している人・孤独な人・幼少時の虐待体験がある人・飲酒をする人・強迫的思考の人などです。成人の自殺の場合、60歳前後の老年期が最も多くなります。これは退職による経済状況の悪化や、自分自身や身内の健康状態の不安などがあげられます。青少年の心の病気は、統合失調症が最も多く発病する時期です。また、摂食障害、気分障害などの症状が現れ、自傷行為や自殺に至るケースもありますが、できるだけ早く兆候を見つけてあげなくてはなりません。青少年期の特徴として、外的ストレスに弱い・双極性の気分を持つ・自己評価が低いなどが原因となり、諦めや後悔の念からこの世を去る決断を下しています。近年では、インターネットや携帯電話の普及で実際人間関係が希薄になりつつあることも自殺の大きな要因だと思います。青少年の患者に「なぜ自分の命なのに自由にはいけないのですか？」と聞かれます。命の半分は自分のものですが、半分は育ててくれた両親や友達など社会のものであることを気付かせ、自分の言葉で命の大切さを表現できるようにしなければなりません。衣食住が満たされた現代人ですが、他者に認められたいという承認要求がかなり高くなっています。自殺予防のために心理教育の徹底・経済保障・多層的に人と関わる事の大切さを認識する必要があります。



< ゲスト > 元今治青少年ロータリー友の会 豊岡咲さん

次 回 例 会 (3月21日)

【 地区協議会報告 】

< 会員誕生日祝 >	小堀陽一郎氏 (3/21)	村上 修三氏 (3/23)
< 配偶者誕生日祝 >	飯 忠悟氏 (3/27)	
< 結婚記念日祝 >	冠 康秀氏 (3/21)	
< 入会記念日祝 >	岡田 昌平氏 (3/22)	

[健寿司]